



2017.1



## 演歌からサルサまで幅広いジャンルを演奏

～佐世保市立相浦西小学校金管バンドクラブ～

「“できないこと”から逃げない！」。厳しい稽古が飛び中、懸命に指揮者のタクトを見つめ、演奏する相浦西小金管バンドのメンバーたち。秋に新メンバーが入り、今は1年から6年までの24人。毎週土曜には「隊長さん」の愛称で親しまれている、佐世保市消防音楽隊の元隊長永田洋二さんの指導を受け、1つ上を目指しながら練習に励んでいる。昨年は学校外でのステージが大幅に増え、演奏を聞いた人から「うちの施設でも演奏してほしい」と声を掛けてもらったり、同市立清水小、佐々町立佐々小と合同で「アルカス九十九島音楽祭」に出場したりするなど、大きく成長した1年となった。

同バンドの大きな武器は幅広いジャンルの曲を演奏できること。今月14日に諫早市で開かれる「長崎県小学校管楽器合奏フェスティバル」では「アメリカン・パトロール」と「Manbo No5」を披露するが、レパートリーは演歌、歌謡曲、マンボ、ルンバなどジャンルもさまざま。誰もが聞いたことがあるようなポピュラーな曲が多く、観客に喜ばれている。2月には地元相浦町で開かれる「あたご市」でのステージも決まっている。部長の野口美幸さんは「みんなが1つにまとまった演奏になるよう、がんばっています」と話した。



## \長崎短大生/の よかとこ探しの旅

## 気分転換にどうですか?~自然と笑顔になる絶品!丸房露!



はっぴーロール3種類(ココア、いちご、プレーン)

江口製菓舗

住 所:佐世保市中里町157

TEL:0956-48-3680

営 業:月～土、祝日 9:00～19:00

定休日:日曜日 駐車場:有

お年寄りに安心して気軽に歩いてもらいたいと考え、佐世保市中里町にある江口製菓舗を訪れた。創業80年以上の歴史があり、地域住民に愛され続ける和菓子店の商品や工夫を取り上げた。

社長の江口薰(えぐち・かおる)さん(55)と、4代目で長男の貴彬(たかあき)さん(27)、香織(かおり)さん(27)夫妻、長女の吉田結希乃(よしだ・ゆきの)さん(28)の4人で切り盛りしている。

江口社長が最も大切にしていることは、「いつ食べても懐かしいと思ってもらえるような商品作り」という味へのこだわり。主力商品「絶品の丸房露」は、製造過程の水分を卵で補うことでしっとりとした柔らかい仕上がり。今年、貴彬さん夫妻が名付けた新商品「はっぴーロール」もバタークリームの甘さが控えめで、お年寄りでも食べやすいと評判。

お客様が店内で腰掛けて会話を楽しめるよう長椅子を置くなど、優しい心遣いがうれしい。「今後もみんなの憩いの場になるようにしたい」と江口社長は話した。



江口製菓舗を担う貴彬さん、香織さん夫妻

### 私たちが取材しました!!

この記事でたくさんの人に江口製菓舗を知ってもらい、いろんな人が集まるような場が増えるいいなと思いました。また、子どもやお年寄りが外出するきっかけになればうれしいです。

森 順喜(20歳)、近藤菜々(19歳)、永柄満紗(19歳)  
長崎短期大学保育学科 介護福祉専攻 1年、2年

富永  
雅也  
白十字会理事長

コラム 病気を進行させない医療②

## 「白十字会の取り組み」

### 医)白十字会の取り組み

#### ①病気の悪化を予防する取り組み

- ・糖尿病・リウマチセンター
- ・老化に伴う廃用性萎縮→パワーリハ
- ・認知症→学習療法

#### ②食べられる口を作るプロジェクト

自己チェックシート活用による寝たきり防止

#### ③地域サロン展開による認知機能維持

佐世保市は、病院や介護施設から自宅に戻られた高齢者で歯科医院に通えない方のために、歯科医もしくは歯科衛生士が患者さん宅を訪問し、ケアを行うトライアルを行う予定です。口の中が健康になると、咀嚼(そしゃく)、嚥下(えんげ)機能も向上し、栄養学的にも良好な改善をもたらすものと期待されます。

高齢者の急増、支え手世代の減少、国家の財政難の三重苦の時代に、われわれ市民がるべき道はどういうものでしょうか。社会医療法人財団白十字会では、病気の悪化を予防する取り組みを行っています。生涯付き合う慢性病の代表である糖尿病を例に挙げますと、敵である糖尿病という病気を理解することは患者さんの義務であると考えます。そのため、白十字会グループの一つである佐世保中央病院の糖尿病センターでは、看護師や栄養士、検査技師などからなる糖尿病療養指導士が「コーチング」という手法を用いて徹底的に糖尿病と戦う方法を指導しています。

### 闘病方法を徹底指導

社会医療法人財団  
白十字会